

学校2020レガシー

区市町村立学校

番号	地区名	学校名	課程等	取組名	内容	身に付く資質等				
						ボ	障	ス	日	国
1954	羽村市	羽村東小学校		パラリンピック調査隊	3年生から6年生までの4学年にわたり、総合的な学習の時間でパラリンピックについて理解を深める。自らテーマを決め、それぞれの競技のルールや取り組みについて調べ、新聞や口頭にて伝え合い、理解を深める。	○	○			
1955	羽村市	羽村西小学校		なわとび教室	なわ跳びバフォーマーを招き、技の指導を受けたり、体づくりの運動を行ったりする。			○		
1956	羽村市	富士見小学校		障害のある方と共に・パラスポーツにチャレンジ	車いす体験やアイマスク体験を通して障害者の生活について理解を深める。また、ポッチャ体験を通してパラスポーツについて興味や関心を高める。		○			
1957	羽村市	栄小学校		RUNRUNタイム	日常的に体を動かす児童の育成のために、「RUNRUNタイム」を設け、持続して体を動かす時間を設定する。			○		
1958	羽村市	松林小学校		特別支援学校との交流会	パラスポーツや図工作品の制作活動を通して、隣接の特別支援学校の児童と定期的に交流活動を実施する。		○	○		
1959	羽村市	小作台小学校		パラスポーツ招待授業	ゲストティーチャーを招いて講演や体験活動を行い、多様性を尊重しようとする態度を養う。		○	○		
1960	羽村市	武蔵野小学校		障害者理解教育に向けた出前授業 (点字・手話・車いす体験)	点字講師による点字の読み方や打ち方、手話サークルの方々による手話での挨拶、老人ホームの方々による車いすの乗り方や注意点などについて、体験的な学習を実施する。		○			
1961	羽村市	羽村第一中学校		花植えボランティア	校内や校外の美化活動を、球根や花の植栽を通じて実施する。	○			○	
1962	羽村市	羽村第二中学校		パラスポーツ体験	パラスポーツを通して、障害のある方々との交流活動を実施する。	○	○	○		
1963	羽村市	羽村第三中学校		パラスポーツ交流会	パラスポーツを通して、近隣の障害者スポーツ団体と交流する。	○	○	○		

ボ・・・ボランティアマインド
 障・・・障害者理解
 ス・・・スポーツ志向
 日・・・日本人としての自覚と誇り
 国・・・豊かな国際感覚